

指定要件等	必須:A, 非必須:B	13 埼玉医科大学病院	
所在地		毛呂山町大字毛呂本郷38	
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定			
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		充足度:	埼玉県(西部第二保健医療圏) 375,009人(平成15年1月1日現在)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考		16.1%(平成14年)
II 拠点病院の指定要件 (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)			
1 診療体制			
(1)診療機能			
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	<input type="radio"/>	「参考資料1」 P151~P163
②緩和医療の提供体制	A	<input type="radio"/>	緩和ケア病棟無 緩和医療提供体制(緩和ケアチーム)あり。
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	<input type="radio"/>	特定機能病院として全国に高度医療を提供している。また、地域医療連携室の設置や地域医療機関との懇談会の開催等により、高度医療・地域医療との連携・協力体制を持っている。 (紹介患者15,777人、逆紹介患者10,987人)
(2)診療従事者			
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	<input type="radio"/>	学会認定資格を有する専門医、医療連携室により対応している。
②下記に掲げる者の配置			
○専門的な看護に携わる看護師	B	<input type="radio"/>	創傷・オストミー・失禁看護認定2名、ホスピスケア講習終了、平成16年度認定見込み
○精神保健福祉士	B	<input type="radio"/>	2名
○臨床心理に携わる者	B	<input type="radio"/>	臨床心理士2名
○臨床診療録管理に携わる者	B	<input type="radio"/>	18名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	<input type="radio"/>	8名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	<input type="radio"/>	2名
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	<input type="radio"/>	11名
(3)医療施設			
①医療相談室の設置	A	<input type="radio"/>	2室
②集中治療室の設置	B	<input type="radio"/>	17室
③無菌病室の設置	B	<input type="radio"/>	7室
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	<input type="radio"/>	リニアック2台、高線量率イリジウム治療装置1台
(4)医療機器			
○高度な医療機器の設置	B	<input type="radio"/>	CT、マルチスライスCT、MRI、乳房X線、血管造影装置、ガンマカメラ、リニアックほか
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	<input type="radio"/>	診療放射線技師68名、臨床検査技師107名、臨床工学技士31名
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立			
	A	<input type="radio"/>	平成15年4月より登録開始(登録患者数481人)
2. 研修体制			
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	<input type="radio"/>	包括的がん治療談話会を地域の医療機関に対して実施している
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	<input type="radio"/>	包括的がん治療談話会を開催している。
3. 情報提供体制			
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	<input type="radio"/>	ホームページ(診療内容、診療実績等)、病院広報誌、診療案内等
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談に応じた情報提供	A	<input type="radio"/>	医師による相談対応及び印刷物の発行による情報の提供を行っている
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	<input type="radio"/>	関連学会における発表及びホームページによる医療情報の提供

指定要件等	必須:A, 非必須:B	14 東京厚生年金病院	
所在地		新宿区津久戸町5-1	
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定			
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		充足度	東京都(区西部) 1,146,352人(平成16年5月1日現在)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考		17.5%(平成15年)
II 拠点病院の指定要件 (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)			
1 診療体制			
(1)診療機能			
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○	「参考資料1」 P164~P175
②緩和医療の提供体制	A	○	緩和ケア病棟をH16.4に開設(18床) 緩和ケアチーム有り
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○	5部位のがん各々について他の医療機関との連携、協力関係は確保されている
(2)診療従事者			
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○	常勤医師15人により対応
②下記に掲げる者の配置			
○専門的な看護に携わる看護師	B	○	1名(認定看護師)
○精神保健福祉士	B	×	
○臨床心理に携わる者	B	×	
○臨床診療録管理に携わる者	B	○	常勤3名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○	常勤3名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○	常勤3名
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○	常勤2名
(3)医療施設			
①医療相談室の設置	A	○	有
②集中治療室の設置	B	○	有
③無菌病室の設置	B	△	整備予定
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○	有
(4)医療機器			
○高度な医療機器の設置	B	○	CT、MRI、ライナック
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○	診療放射線技師
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立			
	A	○	平成16年度中に整備予定
2 研修体制			
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○	癌研合同カンファレンス(年2回)、医療連携懇話会、肺がん検診合同読影会等の開催
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○	院内医療フォーラム、緩和ケア病棟勉強会等の実施
3 情報提供体制			
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○	担当科ごとに主要5部位を含む個々のがんに関し解説、緩和ケア病棟についての情報提供
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談に応じた情報提供	A	○	地域の医療機関からの診療に関する相談に応じて必要な情報を提供している
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○	学会・研究会、学術論文、インターネット等を通して情報収集を行っている。また、悪性新生物を含めた診療に関する統計を年報で報告している

指定要件等	必須:A, 非必須:B	15 東大和病院
所在地		東大和市南街1-13-12
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定		
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		充足度 東京都(北多摩西部) 616,230人(平成16年5月1日現在)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	8.3%(平成14年4月~9月)
II 拠点病院の指定要件 (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)		
1 診療体制		
(1)診療機能		
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○ 「参考資料1」 P176~P198
②緩和医療の提供体制	A	○ 緩和ケア病棟無し 緩和ケアチーム有り
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○ 5部位のがん各々について他の医療機関との連携、協力関係は確保されている
(2)診療従事者		
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○ 常勤医師17人により対応
②下記に掲げる者の配置		
○専門的な看護に携わる看護師	B	×
○精神保健福祉士	B	×
○臨床心理に携わる者	B	×
○臨床診療録管理に携わる者	B	○ 常勤9名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○ 常勤2名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○ 多摩老人医療センター・公立昭和病院へ依頼
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○ 常勤1名
(3)医療施設		
①医療相談室の設置	A	○ 有
②集中治療室の設置	B	○ 有
③無菌病室の設置	B	○ 有
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○ 多摩老人医療センター・公立昭和病院へ依頼
(4)医療機器		
○高度な医療機器の設置	B	○ CT、MRI、血管撮影装置(DSA)
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○ 診療放射線技師11名を配置
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立		
	A	○ 平成16年度中に整備予定
2 研修体制		
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 東大和臨床検討会2回、東大和病院症例検討会6回
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 大和会研究集会1回、救急症例検討会6回
3 情報提供体制		
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○ 外来診療体制、入院診療体制、院合医療整備等について公開している
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談に応じた情報提供	A	○ 隔月の症例検討会や年2回の市医師会主催臨床検討会での最新医療情報の提供など
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○ 拠点病院で構成する全国的な協議会にがん患者の5年生存率等の情報を報告するなど総合的ながん情報の収集提供に積極的に取り組むことができる。

指定要件等	必須:A, 非必須:B	16 藤沢市民病院
所在地		神奈川県藤沢市藤沢2丁目6番1号
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定		充足度
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		神奈川県「湘南東部保健医療圏 664,636人 H15.12.1現在」の1カ所目
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	32.8%(H14年)
II 拠点病院の指定要件 (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)		
1 診療体制		
(1)診療機能		
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○ 「参考資料1」 P199~P202
②緩和医療の提供体制	A	○ 緩和ケア病棟無 ○ 緩和ケアチーム有り
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○ 地域医療連携システムの運用により、同一保健医療圏内の医療機関からの患者を中心に受入、紹介、逆紹介に努めている。光線力学的治療、ITナイフ、ラジオ波治療、PET検査、脳転移症例のガンマナイフを他病院へ依頼。
(2)診療従事者		
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○ 各診療科の医師により対応
②下記に掲げる者の配置		
○専門的な看護に携わる看護師	B	○ 7名(認定看護師)
○精神保健福祉士	B	○ 2名
○臨床心理に携わる者	B	○ 1名
○臨床診療録管理に携わる者	B	○ 2名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○ 2名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○ 1名
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○ 1名
(3)医療施設		
①医療相談室の設置	A	○ 3室
②集中治療室の設置	B	○ ICU:4床、CCU:2床
③無菌病室の設置	B	○ 2床
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○ 放射線治療施設として、リニアック治療室1室、ラルストロン治療室1室、RI検査室2室を設置
(4)医療機器		
○高度な医療機器の設置	B	○ マルチスライスCT2台、ヘリカルCT1台、磁気共鳴断層撮影装置2台ほか
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○ それぞれの装置に対応し医師、技師、看護師等を配置
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立	A	○ 昭和46年10月から登録開始(H12、13、14年 計2,605人)
2 研修体制		
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 地域医療従事者との合同研修会等を開催
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 症例研究討論会、各種研究会、看護部・医療技術部職員研修等の開催
3 情報提供体制		
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○ 病院の概要、受診案内(外来、入院、救急)医療連携情報、業務状況。今後、がんに関する情報ははじめ各科の診療内容、専門領域を公開予定
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談等に応じた情報提供	A	○ 業務状況をまとめた年報の送付、地域医療連携システムの案内送付、各科診療内容・専門領域をまとめた診療案内を送付
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○ 神奈川県悪性新生物登録事業への協力、各種学会への積極的な参加、公開講座等への講師派遣

指定要件等	必須:A, 非必須:B	17 岐阜県立岐阜病院
所在地		岐阜市野一色4丁目6番1号
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定		
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)		充足度: 岐阜県(岐阜医療圏)※同一医療圏で推薦中 803,550人(平成15年10月1日現在)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	12.6%(平成15年)
II 拠点病院の指定要件 (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)		
1 診療体制		
(1)診療機能		
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○ 「参考資料1」 P203~P210
②緩和医療の提供体制	A	○ 有(30床) ・医師10名、看護師30名(WOC認定看護師2名含む)薬剤師、臨床心理、ソーシャルワーカー、リハビリ 各2名
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○ 地域の医療機関からのみならず、地域の住民からの相談にも対応。
(2)診療従事者		
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○ 医師19名による対応
②下記に掲げる者の配置		
○専門的な看護に携わる看護師	B	○ 2名
○精神保健福祉士	B	○ 2名
○臨床心理に携わる者	B	○ 1名
○臨床診療録管理に携わる者	B	○ 4名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○ 2名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○ 0名(協力体制有り)
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○ 1名
(3)医療施設		
①医療相談室の設置	A	○ 2室
②集中治療室の設置	B	○ 4床
③無菌病室の設置	B	× 無
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○ 有(施術件数 8,709件)
(4)医療機器		
○高度な医療機器の設置	B	○ リニアック1台、CTスキャン2台、MRI2台、連続血管撮影装置2台、結石破碎装置1台、ガンマカメラ3台
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○ リニアック2名、CTスキャン3名、MRI2名、連続血管撮影装置2名、結石破碎装置1名、ガンマカメラ2名
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立		
	A	○ S60から H13 1,351件 H14 1,451件
2. 研修体制		
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○ がん手術手技研修 H14.8から2年間予定・病院外科医師、大腸内視鏡検査研修 H15.2~4 週1回・岐阜大学医師、胃がんの早期診断の研究会S48~月1回(対象:開業医 約250回)現在オープン病床クリニカルミーティングに移行している。
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○ 他の医療機関における各種研修等に積極的に参画している
3. 情報提供体制		
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○ がん診療に関するホームページも開設
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談等に応じた情報提供	A	○ 病診連携室を窓口として情報提供。H13.10~H15.10紹介件数19,462件 H15.10現在の開放型病床の利用率は29%でここ6か月間で64回の共同診察が行われている。
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○ 各種学会に定期的に参加し、情報の収集及び提供等を実施している

指定要件等	必須:A, 非必須:B	18 岐阜市民病院	
所在地		岐阜市鹿島町7丁目1番地	
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定		充足度	
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、人口、がん診療拠点病院数)			岐阜県(岐阜医療圏)※同一医療圏で推薦中 803,550人(平成15年10月1日現在)
入院患者に占めるがん患者の割合	参考		14.4%(平成15年)
II 拠点病院の指定要件 (継続的に全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)			
1 診療体制			
(1)診療機能			
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○	「参考資料1」 P211～P217
②緩和医療の提供体制	A	○	緩和ケア病棟無 緩和ケアチーム有(医師5名、看護師26名、精神保健福祉士、臨床心理士、栄養士、薬剤師各1名常勤)
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○	病理診断に関し、大学病院からの病理医が定期的に派遣され、当病院病理医と共に標本を診断。また、大学病院やその他病院及び当病院間で定期的に症例検討会を開催し助言を得ている。なお、患者が高度先端医療を望む場合は、大学病院を紹介している。
(2)診療従事者			
①医療機関や患者からの相談に対する医師の配置	A	○	医師数:29名
②下記に掲げる者の配置			
○専門的な看護に携わる看護師	B	×	0名
○精神保健福祉士	B	○	1名
○臨床心理に携わる者	B	○	1名
○臨床診療録管理に携わる者	B	○	1名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○	3名
○放射線治療医又は連携による体制の確保	A	○	1名
○病理専門医又は連携による体制の確保	A	○	1名
(3)医療施設			
①医療相談室の設置	A	○	有(1室)
②集中治療室の設置	B	○	有(9室)
③無菌病室の設置	B	○	有(5室)
④放射線治療施設の設置又は連携による体制確保	A	○	有
(4)医療機器			
○高度な医療機器の設置	B	○	リニャック1台、CTスキャン3台、MRI2台、ダイオードレーザー1台、ITナイフ1台
○上記の医療機器の操作・保守に精通した者の配置	B	○	リニャック3名、CTスキャン3名、MRI3名、ダイオードレーザー2名、ITナイフ2名
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)の確立			
	A	○	確立している。(H16.4)
2 研修体制			
(1)地域の医療従事者に対する研修の実施	A	○	高度な胃がん手術見学及び検討会 年1回、肺がん検査・治療見学及び画像読影カンファレンス週1回、乳がん画像読影 年4回、肝がん検査・治療見学及び画像読影カンファレンス 年3回
(2)院内の医療従事者に対する研修の実施	A	○	がん診療実務者研修 医師1名・看護師3名、神奈川がんセンター緩和病棟研修 看護師1名、日本がん看護学会 看護師3名
3 情報提供体制			
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の適切な公開	A	○	病院概要、診療科案内等
(2)地域の医療機関からの診療に関する相談等に応じた情報提供	A	○	H15年度 診療相談 713件、情報提供 713件
(3)総合的ながん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○	各種学会に定期的に参加し、情報の収集及び提供等を実施している